

Decreased serum anti-Müllerian hormone level is associated with vitamin D deficiency in healthy Japanese women

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2015-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 本田, 由佳 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001709

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1612 号

Decreased serum anti-Müllerian hormone level is associated with deficient of 25-hydroxyvitamin D level and body fat percentage in women of reproductive age

(生殖可能年齢女性では抗ミュラー管ホルモン値は体脂肪率および血清 25 ビタミン D 値と関連する)

本田 由佳 (ほんだ ゆか)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、生殖医療分野で重要な基礎的研究として、日本人妊娠前女性の適切な栄養摂取や適正体脂肪が妊娠予備能に関連することを初めて明らかにした意義のある論文である。近年、日本では未婚化・晩婚化の影響により高齢出産が増加し、少子化に拍車がかかると同時に、不妊治療患者が増加している。さらにこの 10 数年間で出生体重は減少し、この要因の 1 つとして妊娠前からのやせ体型の増加も考えられており、妊娠前の女性の栄養が重要視されてきているが、日本での研究は少ない。

本研究では、健康な生殖可能年齢女性を対象として抗ミュラー管ホルモン (AMH) を測定し、体格および血清 25 ビタミン D (25(OH)D) 値との関連性を検討した。なお、血清 25(OH)D は Holic の分類を用いて 30ng/mL 以上を十分群、20- 29.9ng/mL を不十分群、20ng/mL 未満を欠乏群と定義した。30 歳未満では血清 AMH と体脂肪率に正の相関 ($p < 0.05$) が認められたが、30 歳以上では相関しなかった。ビタミン D 欠乏群は 32/119 (26.9%) であり、肥満群 (BMI ≥ 25) でビタミン D 欠乏者の割合は非肥満群に比して有意に ($p < 0.01$) 高値を示した。AMH 低値者 (血清 AMH < 2.2 ng/mL) の割合は、欠乏群は 31.6%、不十分群は 63.2%、十分群は 5.3% であり、欠乏群および不十分群では十分群に比して AMH 低値者の割合が有意に ($p < 0.01$) 高値を示した。

本研究において血清 25(OH)D が低値であると血清 AMH も低値であり、30 歳未満では血清 AMH と体脂肪率に正の相関が認められた。やせ体型やビタミン D 不足は卵巣予備能低下の一因となる可能性が示唆され、晩婚化・高齢出産が進む日本における女性健康支援対策を考える上で意義ある研究と考えられる。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。